



高台

千歳市立高台小学校 学校通信特別号 令和元年9月19日

9月の生活目標

「時間を守り礼儀正しい生活をしよう」

1. 時計を見て行動し、時間を守ろう。
2. その場にふさわしい言葉づかいをしよう。

令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。本年4月に実施いたしました全国学力・学習状況調査の本校の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。本校では、この調査結果を踏まえ、児童の学力向上に向けた行動プランを作成し、学校の教育計画や日常の授業の改善に取り組んでまいります。

1 教科に関する調査結果

国語

全国の平均正答率と比較してやや低い結果でした。

①領域別の結果

【話すこと・聞くこと】

この領域の問題は3問で、全国より低い正答率でした。3問中2問においては全国とほぼ同等（下位）でした。

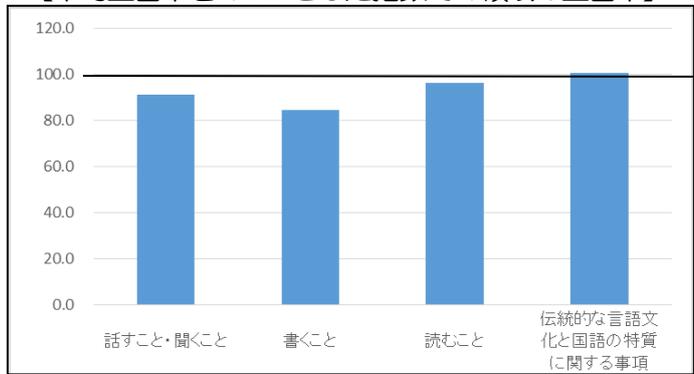
【書くこと】

この問題は3問でした。全国より相当低い正答率でした。3問中の記述式問題においては約8割が誤答でした。

【読むこと】

この問題は、3問でした。全国よりやや低い正答率でした。

【平均正答率を100とした指数で4領域の正答率】



【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

この問題は5問でした。全国と同様の正答率でした。中でも漢字を書く問題においてはいずれも全国より相当高い正答率でした。

【課題のある問題の例】

3

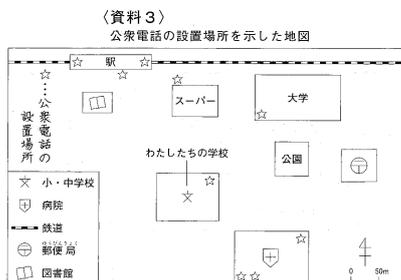
また、公衆電話を使いたいときには、多くの人が集まる場所へ行けば見つけやすいのではないかと考えてみました。今回の調査を通して知ったことを、学級の友達にイカガらず多くの友達に伝え、公衆電話についてウかんしんをもってもらいたいと思います。

この資料から、公衆電話は、主に病院や学校、駅などの多くの人が集まる場所にあるということが分かりました。

（3）公衆電話はどのような場所にあるのか
公衆電話が必要なときに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。実際に町を歩いてまわったものが（資料3）です。

（1）公衆電話はどのようなときに必要なのか
多くの人が集まる場所、家に電話をかけようとする近くの店に行くとき、あつたはずの公衆電話がなくなっていて、こまわっていました。また、よく行く公園の公衆電話も、いつの間にかなくなっていました。わたしは、公衆電話の数が減っているのではないかと、町の公衆電話の数を調べてみることにしました。それをまとめたものが（資料1）です。平成二十年度から二十九年度までの十年間で、約半分にまで減っていることが分かりました。そこで、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまうのかどうか調べてみることにしました。

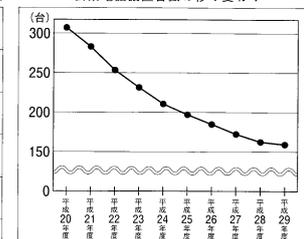
（2）公衆電話にはどのような使い方があり、公衆電話にはどのような資料を調べてみるのか
次のような使い方や特長がありました。
・警察署（110番）や消防署（119番）には、硬貨やテレホンカードがなくても通報することができます。
・携帯電話のときでも、硬貨を使って通話することができます。
・電話が混み合っているときでも、優先的につながりやすい。
このように、公衆電話は、きん急のときに使うことができるということが分かりました。



（資料2）
公衆電話が必要な理由のまとめ（複数回答）

けいたい電話をわすれたときに必要	22人
けいたい電話の電池が切れたときに必要	12人
けいたい電話の使用が禁止されている場所にいるときに必要	5人
けいたい電話の電波がとどかない場所にいるときに必要	4人
けいたい電話や家の電話がつながりにくいときに必要	3人
その他	5人

（資料1）
公衆電話設置台数の移り変わり



1
高橋さんの学級では、生活の中で気になったことを調べ、友達に報告することになりました。高橋さんは、公衆電話について調べています。次は、高橋さんが書いてある「報告する文章」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【報告する文章】

1 公衆電話について
はじめに
先日外出したときに、家に電話をかけようとする近くの店に行くと、あつたはずの公衆電話がなくなっていて、こまわっていました。また、よく行く公園の公衆電話も、いつの間にかなくなっていました。わたしは、公衆電話の数が減っているのではないかと、町の公衆電話の数を調べてみることにしました。それをまとめたものが（資料1）です。平成二十年度から二十九年度までの十年間で、約半分にまで減っていることが分かりました。そこで、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまうのかどうか調べてみることにしました。

2 調査の内容と結果
（1）公衆電話はどのようなときに必要なのか
多くの人が集まる場所、家に電話をかけようとする近くの店に行くとき、あつたはずの公衆電話がなくなっていて、こまわっていました。また、よく行く公園の公衆電話も、いつの間にかなくなっていました。わたしは、公衆電話の数が減っているのではないかと、町の公衆電話の数を調べてみることにしました。それをまとめたものが（資料1）です。平成二十年度から二十九年度までの十年間で、約半分にまで減っていることが分かりました。そこで、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまうのかどうか調べてみることにしました。

